



↑戦没者のめい福を祈り、平和の誓いを新たにしました

←熱戦を繰り広げるちびっ子力士

★ 杉ノ段招魂祭 平和の誓いを新たに

9月25日、明治維新以降の戦争で亡くなられたかたがたを慰霊するための杉ノ段招魂祭が、杉ノ段招魂墓地で開催されました。

遺族や団体関係者、消防団員らが参列して、しめやかに神事が執り行われ、川添健町長が「戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていかなければならない」とあいさつ。遺族会代表の濱畑順一さんは「尊い御魂みたまに感謝し、まごころをもって生きていくのが宿命」と戦没者のめい福を祈り、平和の誓いを新たにしました。

その後、招魂墓地下の広場でちびっ子相撲が、多目的ホールなどで剣道や弓道が奉納されました。どの試合も熱戦が繰り広げられ、一生懸命競い合う姿に、観覧席からたくさんの歓声や拍手が送られました。

まちの話題

★ 東生活研究グループが桃源郷を訪問 手づくりみそなどプレゼント

東生活研究グループ（福寿タズ工会長、会員15人）は、9月1日、特別養護老人ホーム桃源郷を訪問し、本町地場特産品のみそ10kgと会員一枚運動としてタオル15枚など、花束を添えてプレゼントしました。福寿会長は「10年来の活動で施設や入所者のかたに喜んでもらいうれしい」と話しました。入所者の倉田裕徳さんは「味噌は食事で大事なもの。今晚の味噌汁が楽しみです」と夕食を楽しみにしていました。

プレゼントを渡し入所者らと記念撮影↓

